

関西聚 活動報告書

活動名:自然学習ゾーン整備

活動日:2019.6.23(日) 13:30~15:30

リーダー名: 伊東 俊廣

報告者: 伊東 俊廣

参加者:(一般参加者1人 美交工業1人 スタッフ7人 合計9人)

スタッフ:大川 英登、上田 泰史、山本 勲、東川 憇、岩崎 和子、林 俊、伊東 俊廣

参加者 大人1名

活動内容 :「樹名板の取り付けその他」

1. ミズナラの鉢上げ(全員)

上田さん持参のミズナラ5本を、大きな鉢に植え替え、バックヤードに保管

2. 調査活動

- 昆虫調査:大川、岩崎
- 草本調査:上田、山本

3. 樹名板の取り付け

レッツ久宝探検隊で製作した樹名板を取り付けた。(15個)

No.400 アカマツ、Noなし ソメイヨシノ、No.408 シラカシ、No.427 クヌギ、No.475 クヌギ、No.486 コナラ、No.783 コナラ、No.778 クロガネモチ、No.781 タブノキ、No.737 エノキ、No.724 タブ、No.703 ネムノキ、No.660 ナンキンハゼ、No.677 イチヨウ、No.414 クヌギ

やり方は、ナイロン平テープを一文字金具でねじ止めし、テープの端にプラスチックの金具を取り付けて長さの調整が出来るようにした。

4. 昆虫保護ゾーンの除草

セイタカアワダチソウを抜いて取り除いた

活動報告・感想など

雨の予報が前から続いていたが、まずまずの天気になった。

バックヤードで育成中の樹木がかなり大きくなっている。魚谷さんの確認では、残っているマユミの木は全てオスの木とのこと。また、ミズナラは岡山産で、平地の久宝寺緑地では育っても実がならないのではとの危惧も出たが、一応植樹して育成状況を観察することにした。

樹名板は、大きさなどは久宝寺緑地のこれまでの樹名板に統一したが、色は様々で取り付けてみると、なかなか様になっている感じがした。いたずらする人もいるので、どれくらい残るか心配だが、少しずつ自然学習ゾーンの姿になってきたのでは。

昆虫保護ゾーンではセイタカアワダチソウを抜いたが、アブラムシもかなり付いていて、手が真っ赤に染まった。昆虫調査ご報告では、昆虫保護ゾーンにかなりの昆虫がいたとのこと、今後が期待できそうだ。

活動写真

		
取付作業 1	取付作業 2	取付作業 3
		
樹名板 1	樹名板 2	樹名板 3
		
樹名板 4	樹名板 5	樹名板 6
		
樹名板 7	移植後のススキ	昆虫寝床の現状

たくさんのご参加、ありがとうございました！

※フラウサを閉じてお戻りください☆